



## 経営健全化計画と収益のV字回復

当行は、平成16年3月期の決算にかかる優先株式の配当が無配になったことに伴い、平成15年9月に見直した「経営の健全化のための計画」をさらに変更し、平成17年3月期以降の安定収益の確保並びに優先株式等の配当を確実にするための計画を作成しました。

平成17年3月期において経営健全化計画に掲げた各種施策に取組み、預貸金利鞘の改善や営業経費の抑制努力等により、実質業務純益は前期比25億63百万円増加し、155億16百万円となりました。また経常利益は50億99百万円、当期純利益は合併以降過去最高の49億91百万円となり、収益の「V字回復」を果たしました。なお、期末配当については第一回第一種優先株式は14円、第一回第二種優先株式は9円98銭の所定の年間配当とし、普通株式についても1株当たり1円の配当とし、復配を実現しました。

### 経営健全化計画の概要

(単位:億円)

	平成17年3月期 計画	平成17年3月期 実績	平成18年3月期 計画	平成19年3月期 計画	平成20年3月期 計画
業 務 粗 利 益	310	315	313	318	321
経 費	170	160	170	169	169
実質業務純益(注1)	140	155	143	148	152
与信関係費用(注2)	86	96	66	51	41
株式等関係損益	0	△5	—	—	—
経 常 利 益	47	50	70	90	104
当 期 純 利 益	27	49	39	53	61
O H R (注3)	54.84%	50.79%	54.31%	53.14%	52.65%

(注1) 実質業務純益は、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

(注2) 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理損失額

(注3) OHRは、経費÷業務粗利益

